

令和4年度 学校評価(保護者)アンケート

回答数:保護者11名(回答率100%)
教師10名(回答率 91%)

A(+2):そう思う
B(+1):どちらかといえば「そう思う」
C(-1):どちらかといえば「そうは思わない」
D(-2):そう思わない

		項 目	評 価					主なご意見等
I-1 自立と社会参加に向けた指導の充実	1	人とかわかり合うためのコミュニケーション能力を育成するために、「ことばノート」「絵日記」などの教材を工夫し指導を充実させます。	A	B	C	D	評価点	○自ら描く楽しさだったり、言葉でのやりとりが難しい場合、絵日記での写真や絵は思い出の振り返りやことばよりも伝わりやすいと感じています。 ○様々な場面で本人の力が発揮できるよう工夫し、関わりをもってあげています。 ●日本語も手話もことばに含まれるかどうかなど、ことばの定義がわかりにくい。「コミュニケーション能力=ことば」ではないと思います。 ※1名評価なし
	保	平校の教員は、学習したことを「ことばノート」や「絵日記」などの教材を工夫しながら、ことばの指導を充実させていたと思いますか。	9	1			1.7	
	教	「ことばノート」や「絵日記」などの教材を工夫しながら、ことばの指導を充実させましたか。	4	5	1		1.2	○幼稚園では個々の発達段階に応じて家庭と連携し、絵日記に取り組むことができました。 ●日本語に苦手意識のある児童にとっては「ことばノート」や「日記」は難しい。コミュニケーション能力を育成するための手立てを考えていく必要がある。
	2	保護者及び関係機関との連携の際には、必ず「個別の教育支援計画」を活用し、指導支援の経過や合理的配慮を確認し、切れ目のない指導・支援をします。	A	B	C	D	評価点	○送迎の時なども日々報告しやすい環境があるので連携はとりやすいと感じています。 ○丁寧に時間を設けて親と話し合ったださっていると感じます。
	保	平校の教員は、お子さんや保護者との個別懇談等とおして、「個別の教育支援計画」について、話し合いを深めることができたと思いますか。	10	1			1.9	
	教	幼児児童や保護者との個別懇談等とおして、「個別の教育支援計画」について、話し合いが深められましたか。	4	4	2		1.0	●教育支援計画の活用をもっと充実させるとよいのではないかと。 ●表面的なもので終わってしまっている。個別の教育支援計画をどう活用していくかが課題である。
	3	交流及び共同学習においては、交流校及び交流保育園と「個別の教育支援計画」を用いて合理的配慮を確認し、共通理解のもと指導にあたります。	A	B	C	D	評価点	●HPの「交流している様子」はあくまでも教員視点での評価なので、何を学び合うのか、障がいについてという点でいざばどう紹介しているのかが分からないと評価しづらいです。
	保	平校の教員は、交流及び共同学習において、お子さんと交流先の幼児児童がお互いに学び合える環境を作っていたと思いますか。	8	3			1.7	
	教	交流及び共同学習において、交流先の幼児児童とお互いに学び合える環境を作れましたか。	2	7	1		1.0	○絹谷分校との交流においてはお互いに学び合える環境ができていると思います。 ●草野小学校との交流のあり方についてはさらに検討が必要である。
	4	「聴覚障がいのある先輩方との交流」や進路に向けた本人や保護者との丁寧な話し合いを通し、キャリア教育の充実を図ります。	A	B	C	D	評価点	●進路相談に関しては、もっと細かく説明してほしいことがありました。それでもいろいろ対応してくださりました。 ○今後のことをふまえ、今年からいわき支援との交流ができたことはうれしい。 ●ふくろう祭にいらした卒業生くらいしか交流する場はないのでは?地域のろう者を学校内に取り込む、ロールモデルの提示場面は幼稚園部を見る限りないと思います。
	保	平校の教員は、聴覚障がいのある先輩方との交流や進路に向けた本人や保護者との話し合いを丁寧に進めることができたと思いますか。	8	2		1	1.5	
	教	聴覚障がいのある先輩方との交流や進路に向けた本人や保護者との話し合いを丁寧に進めることができましたか。	1	9			1.1	●現在のことも大切だが、将来像を捉える視点を大切にしていきたい。

I-2 主体的に思考する力と豊かな心の育成	1	年3回の「読字力検定試験」に挑戦する機会を設け、主体的に学習に取り組む力を育成します。	A	B	C	D	評価点	●「読字力検定試験」という言葉に余りなじみがありませんでした。(幼) ※1名評価なし。
	保	平校の教員は、年3回の「読字力検定試験」をはじめ様々な活動において、お子さんが目標に向かって主体的に学習に取り組めるよう指導・支援していたと思いますか。	7	3			1.5	
	教	年3回の「読字力検定試験」をはじめ様々な活動において、目標に向かって、幼児児童が主体的に学習に取り組めるような指導・支援を行っていましたか。	5	5			1.5	
	2	積極的に移動図書館と連携し、読書活動を推進し、豊かな心を育てます。	A	B	C	D	評価点	○幼稚部としては、移動図書館というより、教室や2階の図書室の方が利用が高いのかなと思います。 ○移動図書館を子どもも楽しみにしていて、借りた本を教室でみせてくれます。
	保	平校の教員は、お子さんが積極的に県立図書館やいわき市立図書館の移動図書館を活用できるよう指導・支援していたと思いますか。	9	1	1		1.6	
	教	幼児児童が積極的に県立図書館やいわき市立図書館の移動図書館を活用できるよう指導・支援していましたか。	4	5	1		1.2	●本を借りただけで読まない。読書活動の推進に課題がある。
I-3 一人一人の実態を踏まえた言	3	体験的活動を積極的に取り入れ、体験したことを手話や「話す」「書く」「聞く」「読む」等のことばの学習をとおして、幼児児童が自ら考え、行動できるような主体性や意欲を育成します。	A	B	C	D	評価点	○絵日記を通して週末や日常のことばの学習、やりとりが行われていると思います。 ○子どもの能力に合わせて、学習を進めてくれている。興味をもてるよう工夫してくれている。 ●手話も日本語も言語であるのなら、「ことば」は不要だと思います。思考力のもとには言語が必要ですが、それは日本語でも手話でも優劣はありません。 ※1名評価なし
	保	平校の教員は、体験したことを手話や「話す」「書く」「聞く」「読む」等のことばの学習をとおして、幼児児童が主体的に授業に取り組むことができたと思いますか。	9	1			1.7	
	教	体験したことを手話や「話す」「書く」「聞く」「読む」等のことばの学習をとおして、幼児児童自らが主体的に取り組むことができる授業を行うことができましたか。	5	5			1.5	○「総合」「学活」「道徳」「自立」の授業において実践されている。1年だけで終わらないように継続していきたい。
I-3 一人一人の実態を踏まえた言	1	教員は聴覚活用や多様なコミュニケーション能力の向上を図るため、専門研修や実技研修を行い、全職員が専門性の向上を図ります。	A	B	C	D	評価点	○医療センターなど幅広く普及に励まれていると思います。 ●先生方がどのような研修を何のために、どの程度されているのかが保護者からは見えづらいです。HPIにある形式だけのものではなく、何を得たかが分かれば。
	保	平校の教員は、専門研修や実技研修を実施し、専門性の向上を図る取組を行っていたと思いますか。	8	2		1	1.5	
	教	専門研修や実技研修を実施し、専門性の向上を図る取組を行っていましたか。	4	5	1		1.2	●自分自身は足りなかったと思う。 ●研修部の課題とし、来年度の年間計画をしっかりと立ていく。
	2	聴覚補償や情報保障機器、手話や指文字の適切な活用ができるよう教員の研修を行います。	A	B	C	D	評価点	●ろう学校(聴覚支援学校)教員としての専門性を身につけるための具体的な見通しがあるとよい。
保	平校の教員は、様々な支援機器や手話、指文字の適切な活用ができるよう、必要な研修を行っていたと思いますか。	7	3		1	1.4		
教	様々な支援機器や手話、指文字の適切な活用ができるよう、必要な研修を行っていましたか。	5	5			1.5	●研修部の課題とし、来年度の年間計画をしっかりと立ていく。	

語力の育成	3	外部の専門家を招聘し、教員自ら課題意識を持って授業研究会を実施し、授業力の向上を目指します。	A	B	C	D	評価点	
	保	平校の教員は、外部の専門家を招聘しての授業研究会を実施することで、授業力の向上が図られたと思いますか。	9	2			1.8	○原田先生、松本先生の研修のあと、担任からこういう話が あったと教えていただきました。
	教	外部の専門家を招聘しての授業研究会を実施することで、授業力の向上が図られたと思いますか。	5	5			1.5	○デフブツの研修を通して、全教員、学校全体で研修に取り組む ことができました。
II	1	毎月安全点検等を実施し、幼児児童の安全と安心の確保に努めるとともに、個人情報及び情報セキュリティの管理を徹底します。	A	B	C	D	評価点	
	保	平校の教員は、幼児児童の安全・安心の確保及び個人情報の適切な管理に努めていたと思いますか。	8	3			1.7	●例えばきこえない子にとって手話で話しかけられると途端に 気を許しそうな気がします。防犯の練習として手話通訳者など 不審者役できてもらうのはどうでしょうか？
	教	幼児児童の安全・安心の確保及び個人情報の適切な管理に努めていたと思いますか。	4	6			1.4	●始業、終業に加えて非常時も知らせるパトライトが校内にあ るとより安全・安心である。
安全で安心な学校づくり	2	食育の推進と安全で楽しい学校給食の充実を図ります。	A	B	C	D	評価点	
	保	平校の教員は、お子さんが安全で楽しく給食を食べることができるよう努力していたと思いますか。	10	1			1.9	
	教	安全で楽しく給食を食べることができるように努力していると思いますか。	7	3			1.7	
	3	特別活動や道徳教育において、いじめに対する指導を行い、また家庭と強く連携をとりながら、教職員が組織として予防的な対応を心がけます。	A	B	C	D	評価点	
	保	平校の教員は、いじめ防止委員会を中心に組織的に、いじめの未然防止に努めていたと思いますか。	9	2			1.8	
	教	いじめ防止委員会を中心に組織的に、いじめの未然防止に努めていたと思いますか。	5	5			1.5	
	4	防災・防犯教育や放射線教育の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策に努めます。	A	B	C	D	評価点	
	保	平校の教員は、避難訓練や不審者対応訓練、放射線教育を適切に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策を十分に行っていたと思いますか。	8	2	1		1.5	●各教室に空気清浄機の導入ができればすごくよいと思う。ウ イルスだけでなく、アレルギーなども対策できるかと思う。
	教	避難訓練や不審者対応訓練、放射線教育を適切に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策を十分に行っていたと思いますか。	7	3			1.7	
	1	地域の関係機関や保健師等と連携し、0歳からの乳幼児教育相談を行います。		B	C	D	評価点	
	保	平校の教員は、地域支援センター「みみらんど・いわき」の充実を図るために努力していたと思いますか。	9	1	1		1.6	●みみらんど利用時、学校教員との交流があまりなく、「学校全 体で見守ってもらっていた」という感じは受けなかったです。
	教	地域支援センター「みみらんど・いわき」の充実を図るために努力していると思いますか。	7	2	1		1.5	●充実に向けて努力はしていると思うが、まだ課題がたくさんあ る。0歳からの乳幼児教育相談の充実のためにもいわき医療セ ンターとの連携を早急に。

Ⅲ センター的 機能の 充実	2	教育事務所や市町村教育委員会、近隣の特別支援学校と連携し、幼稚園や保育所、学校等に在籍する聴覚障がいのある子どもへの支援を行います。	A	B	C	D	評価点	●平支援やいわき支援のポスターは病院等によく見かけるが、聴覚支援学校のポスターはあまり見かけないので、もっと普及してもいいのかなと思う。 ○みみらんのポスターが保育所に掲示されているのを見ました。啓発に力を入れていると感じます。
	保	平校の教員は、いわき地区幼稚園や保育所、学校等に在籍する聴覚障がいのある子どもへの支援を積極的に行っていると思いますか。	7	4			1.6	
	教	いわき地区幼稚園や保育所、学校等に在籍する聴覚障がいのある子どもへの支援を積極的に行っていましたか。	7	2	1		1.5	●今後は幼児・児童・生徒はもとより、担任への支援を充実していけるといいのでは。(センター的機能の充実) ●支援に行っていると思うが、どこで、どのような支援をしてきたのか、情報が共有できるとよい。
	3	地域における聴覚障がい教育の専門機関として学習会や研修会を開催し、地域に発信します。	A	B	C	D	評価点	●コロナもあり、まだ研修会などの開催が見えないので。
	保	平校の教員は、聴覚障がい教育の専門機関として、学習会等の実施と地域への発信に努めていたと思いますか。	6	4	1		1.4	
	教	平校は聴覚障がい教育の専門機関として、学習会等の実施と地域への発信に努めていると思いますか。	5	3	2		1.1	●管理職がリーダーとなって進めていく必要がある。 ●例えば地域戦略会議などの様々な外部会議に出席していると思うが、そこで、どんな内容で話し合ったのかが分かるとよい。

<その他の質問や意見(保護者)>

○ことばの定義がわかりにくいとの指摘がありました。平校においては、手話について、言語としての位置づけをしています。具体的な項目や評価の観点について、表現を整理し、分かりやすいものにしていきたいと考えています。

○保護者の意見を汲んでいただける機会がたくさんあるというのは耳を傾けてくださる姿勢と感じ、一緒によりよい学校を作ろう！という意図と受け取ります。ありがとうございます。